

わ く わ く

11月号

本 だ な



『みんなともだち』

二宮由紀子／作 海谷泰水／絵 教育画劇

「うわぎ」「うさぎ」「うなぎ」は、なまえがそっくりなのですぐになかよくなりました。つぎの日、うわぎがそとに出ると、うさぎとうなぎは「さなぎ」とともだちになっていました。うわぎは、なんだかおもしろくありません。

えほん
(1年生～)

1・2年生

K913 『くじらのくじらん』

市川宣子／作 村田エミコ／絵 リーブル

7つの^{うみ}海をたびするくじらのくじらんは、ある日、海のそこでバナナをみつけます。バナナをお月さまだとおもいこんだくじらんは、バナナを空にかえそうとたかくふきあげました。でも、お日さまはしらんかおです。



3・4年生



K913 『ドアのノブさん』

大久保雨咲／作 ニシワキタダシ／絵 講談社

ノブさんは、^{げんかん}玄関ドアの取っ手です。ところが急に「ガチャン！」という音とともに、山下さん一家はドアにカギをかけてひっこしてしまいました。ノブさんはドアごと追いかけてやりますが、ネジたちに引き止められて動けません。

5・6年生

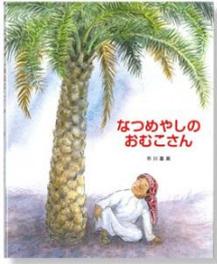
K953 『ダニーの学校大革命』

ラッセル・オスファテール／作 ダニエル遠藤みのり／訳

風川恭子／絵 文研出版

いつも先生に反発してばかりのダニー。ある日、先生の話^{うほしや}を聞かないまま返事をすると、クラス委員の候補者になってしまいます。「ぼくに票を入れないで」と言ったのに、みんながダニーに投票したので委員になってしまいました。





えほん
(1年生～)

『なつめやしのおむこさん』
市川里美／作 BL 出版



えほん
(1年生～)

『ラマダンのお月さま』
ナイマ・B. ロバート／文
シーリーン・アドル／絵
前田君江／訳 解放出版社



1年生～

『プーさんとであった日』
世界でいちばんゆうめいなクマのほんとうにあったお話』
リンジー・マティック／ぶん ソフィー・ブラッコール／え
山口文生／やく 評論社
獣医師のハリーは、子グマのウィニーをかわいがって
いました。せんそうのあいだ、ウィニーは動物園にあずけられ、
クリストファーという男の子となかよくなります。このクマ
が、ゆうめいな「クマのプーさん」のモデルなのです。

えほん

K404 『もしも地球がひとつのリンゴだったら』

デビッド・J. スミス／文 スティーブ・アダムス／絵
千葉茂樹／訳 小峰書店

もしも地球が野球ボールの大きさだったら、土星はどのくらいだと思えますか？こたえは、ビーチボールくらいです。大きすぎてわかりにくいことを、身近なものの大きさまでちぢめると、びっくりする答えがまっています。

ちしきの本



3年生～



4年生～

K785 『私が今日も、泳ぐ理由』
わたし パラスイマーノ瀬メイ』
金治直美／文 学研プラス
競泳選手・一ノ瀬メイさんは生まれつき右ひじの先がありません。小さいころから水泳がとくいで、小学校3年生のとき「パラリンピック」を目指すようすすめられます。しかし、障害が理由で競泳クラスに入れてもらえませんでした。

ちしきの本

K538 『世界初の宇宙ヨット「イカロス」』

太陽の光で宇宙の大海原を翔ける！』
山下美樹／著 森治／監修 文溪堂

地球上のヨットは海でセイル(帆)を広げて、風を受けて進みますが、宇宙ヨットはセイルを広げて、太陽の力で進みます。セイルをたたんだまま宇宙へ打ち上げられた「イカロス」は、大きくてうすいセイルをうまく広げることができるでしょうか。

ちしきの本



4年生～

としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200